



狛江市議会議員

2014. 11・1

吉野よしこの議会報告

【議会報告】

◇9月議会からインターネット中継が始まりました。

市民の陳情を契機に、来年3月には**予算審査を議員全員で行う**ことになりました。市民に開かれ信頼される議会をめざして、今後も議会改革を進めていきます。

◇「**集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更に反対する意見書**」に賛成の討論をしましたが、可否

同数で議長により否決されました。将来米国などが自衛権や国連決議に基づいて海外で武力行使に踏み切り、自衛隊が支援を求められる可能性は否定できません。戦争はいやだ、人殺しはいやだ、平和がいいと誰もが思っています。国民を不安に陥れる集团的自衛権の行使は絶対に容認できません。

◇「**手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情**」を全会一致で採択、国に意見書が提出されました。

◇吉野よしこの2013年度決算討論(抜粋)

子育て環境の充実に関して、「子ども本来の発達・育ちを重視し、子ども中心の保育を行っていく」との市の考えを実現するには従事者の育成が必要です。0才～2才児の保育を担う**家庭福祉員が5人**に増えたことは成果です。財政面も含めた支援の充実を要望しました。市民との協働事業でもある**常設のプレーパーク**はシティセールスの目玉となるといえます。子育て世代に魅力的なまちとして選んで、誇りを持って住み続けてもらえるために、運営を担う市民団体が安定して安全に事業を継続できる十分な予算確保を求めました。中学校給食センターでは食缶方式のあたたかい給食の提供、各中学校にエレベーター整備は高く評価しました。QUアンケートは『子どもたちの支援』になっているのか大きな疑問です。子ども側に立った楽しい学校、分かりやすい授業の推進のためには視覚的提示、学習内容のスモールステップ化、具体的な指示な

ど、ひとしく育ちやすい環境をつくるというユニバーサルデザインの学級運営と授業をすべての教員が理解し実施できることが重要です。不登校など学校が苦手な児童生徒への支援として教育委員会は民間フリースクールとの連携や情報交換を対等な立場で行い、具体的な支援を行うべきです。多様な学びという広い視点に立った教育の保障についても教育委員会での議論を求めました。

市民参加の充実については、**情報提供と情報公開を適切に行い、公平性の担保や参加した市民が納得する工夫**を積み重ねてください。市民にわかりやすい議論の工程を示し、行政も市民も市民参加をより多く体験することで、自分だけの利害ではなく、将来や全体の利益を考えて、市政に関心と信頼を寄せる市民の輪が広がることを確信しています。ハコモノ重視、バラマキ政策ではなく、市民との対話、説明責任を果たし、先見性のある施策を展開してください。財政規律を守り、将来世代に責任を持つ姿勢を評価し、本決算を認定します。

【一般質問】

◇**住み慣れた地域で暮らし続けるしくみをつくらう**

将来の在宅医療の必要量を試算し、医療と介護の恒常的な組織的連携が欠けている狛江市の状況を抜本的に解決すべきです。地域包括ケアシステムを構築するには地域資源調査が必要と指摘しました。

◇**市民参加で透明性と納得度の高いまちづくりを!**

駅前三角地の利活用について新たに立ち上げた検討委員会は市民との信頼関係を築きながら活用方針を策定することを目的に無作為抽出も含め10人中8人市民委員です。市民アンケートを実施、今後「市民の意見を聴く会」開催、活用方針案を作成し、パブコメ、市民説明会を実施し、今年度中に策定を目指すとのことです。

その他**子ども・若者に多様な支援の展開と充実を求めて**質問しました。

狛江・生活者ネットワーク

狛江市東和泉 1-1-25-101

TEL 03-3430-1302 fax 03-5761-0678

E-mail

komanet.seikatusya@nifty.com

<http://yoshino.seikatsusha.net>